



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月2日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社  
 コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花岡 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 植村 亮二  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	909	15.0	41		38		30	
2019年3月期第1四半期	790	23.1	13		10		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.85	
2019年3月期第1四半期	4.33	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,375	1,288	38.2
2019年3月期	3,721	1,337	35.9

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 1,288百万円 2019年3月期 1,337百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,265	24.2	21		20		23		6.74
通期	5,050	17.9	113	179.2	119	140.6	77	156.1	22.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,420,000 株	2019年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	6,194 株	2019年3月期	6,194 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,413,806 株	2019年3月期1Q	3,413,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. その他	7
受注高、完成工事高及び繰越工事高	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化やEU離脱問題などによる世界経済の減速の影響を受けながらも、所得・雇用環境の改善を背景に国内景気は緩やかな回復を継続しました。

建設業界におきましては、企業収益・設備投資は足踏みの状態を続けているものの、政府建設投資が増加に転じ国内建設投資は安定的に推移しました。しかし落ち着いていた資材価格や下請け価格が再度上昇し、また受注価格競争も激しくなるなど、採算面では依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、今まで組織として分けていた気泡コンクリート工事部門及び地盤改良工事部門を一体化することで営業力の増強と施工の効率化をはかり、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績は、地盤改良工事の受注高は前年同四半期に比べ大幅に増加しましたが、気泡コンクリート工事の受注高が発注時期の遅れや受注価格競争の激化で前年同四半期に比べ減少し、工事全体の受注高は798百万円（前年同四半期比14.2%減）と減少しました。売上高につきましては、前事業年度からの繰越工事の施工が順調に推移し、売上高は909百万円（前年同四半期比15.0%増）と増加いたしました。

各段階の損益につきましては、工事施工が順調に推移し売上高は増加しましたが、見込んでいた地域・工法による材料費の構成差や社員人件費の増加による工事原価の上昇、人員増による販売費・一般管理費の増加で、営業損失41百万円（前年同四半期は営業損失13百万円）、経常損失38百万円（前年同四半期は経常損失10百万円）、四半期純損失30百万円（前年同四半期は四半期純損失14百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏するという傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ346百万円減少し3,375百万円となりました。その主な要因としましては、現金預金が144百万円、電子記録債権が100百万円、完成工事未収入金が89百万円と、それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ297百万円減少し2,087百万円となりました。その主な要因としましては、工事未払金が95百万円、支払手形が87百万円、未払金が50百万円、電子記録債務が51百万円と、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この資産・負債合計の減少は、繁忙期である前事業年度第4四半期会計期間と比較し、当第1四半期会計期間の売上高が少なく、売掛債権・工事債務が共に減少したことが要因であります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ49百万円減少し1,288百万円となりました。その主な要因としましては、配当金の支払いや当第1四半期累計期間に四半期純損失を計上したことにより、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、今後需要が見込まれ、十分な施工体制も整えていることから、2019年5月10日に公表しました2020年3月期（第2四半期累計期間及び通期）の業績予想については、現時点において変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	719,315	574,848
受取手形	259,558	261,136
電子記録債権	358,765	258,539
完成工事未収入金	622,532	533,088
売掛金	1,314	3,955
未成工事支出金	4,451	6,729
原材料及び貯蔵品	61,443	50,123
前払費用	13,985	14,105
その他	7,957	11,920
流動資産合計	2,049,323	1,714,447
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	55,417	54,072
構築物（純額）	930	883
機械及び装置（純額）	168,430	156,051
車両運搬具（純額）	2,465	2,109
工具、器具及び備品（純額）	7,625	7,403
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産（純額）	48,901	44,030
建設仮勘定	390	3,099
有形固定資産合計	1,385,020	1,368,509
無形固定資産		
ソフトウェア	936	738
リース資産	8,880	7,770
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	12,167	10,858
投資その他の資産		
投資有価証券	25,564	20,821
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	1,826	1,819
繰延税金資産	128,665	139,638
敷金	14,485	14,394
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	275,300	281,433
固定資産合計	1,672,488	1,660,801
資産合計	3,721,812	3,375,248

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	394,421	306,571
電子記録債務	374,145	255,193
工事未払金	398,177	302,309
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	227,200	237,200
リース債務	24,555	24,003
未払金	145,350	95,321
未払費用	4,097	7,827
未払法人税等	23,598	2,384
未払消費税等	19,323	16,714
未成工事受入金	25,825	6,577
設備関係電子記録債務	12,510	79,920
賞与引当金	25,944	49,432
工事損失引当金	5,249	—
その他	6,345	3,951
流動負債合計	1,696,742	1,387,408
固定負債		
長期借入金	387,900	418,600
リース債務	38,033	32,128
退職給付引当金	212,755	221,557
役員退職慰労引当金	48,937	27,332
固定負債合計	687,625	699,618
負債合計	2,384,368	2,087,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	909	882
繰越利益剰余金	39,637	△7,626
利益剰余金合計	949,596	902,306
自己株式	△1,529	△1,529
株主資本合計	1,337,666	1,290,376
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△222	△2,154
評価・換算差額等合計	△222	△2,154
純資産合計	1,337,443	1,288,221
負債純資産合計	3,721,812	3,375,248

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	790,605	909,246
完成工事高	773,809	902,783
商品売上高	16,795	6,462
売上原価	642,556	776,691
完成工事原価	631,968	772,441
商品売上原価	10,587	4,250
売上総利益	148,048	132,554
完成工事総利益	141,840	130,342
商品売上総利益	6,207	2,212
販売費及び一般管理費	161,802	174,403
営業損失(△)	△13,754	△41,848
営業外収益		
受取手数料	63	77
受取配当金	38	41
受取技術料	4,992	5,321
雑収入	—	70
営業外収益合計	5,094	5,511
営業外費用		
支払利息	1,206	1,100
為替差損	91	150
雑支出	514	495
営業外費用合計	1,812	1,746
経常損失(△)	△10,472	△38,083
特別損失		
減損損失	6,064	—
投資有価証券評価損	—	1,981
特別損失合計	6,064	1,981
税引前四半期純損失(△)	△16,536	△40,064
法人税、住民税及び事業税	3,540	299
法人税等調整額	△5,288	△10,143
法人税等合計	△1,748	△9,843
四半期純損失(△)	△14,788	△30,220

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



## 3. その他

## 受注高、完成工事高及び繰越工事高

## (1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	815,515	87.6	535,695	67.1	3,510,954	80.4
地盤改良工事	128,200	13.8	259,766	32.5	771,439	17.7
その他工事	△12,700	△1.4	2,900	0.4	82,950	1.9
合計	931,015	100.0	798,362	100.0	4,365,344	100.0

## (2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	544,056	70.3	682,677	75.6	3,232,059	76.8
地盤改良工事	209,648	27.1	194,232	21.5	880,476	20.9
その他工事	20,104	2.6	25,874	2.9	94,707	2.3
合計	773,809	100.0	902,783	100.0	4,207,243	100.0

## (3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第1四半期累計期間末 2018年6月30日		当第1四半期累計期間末 2019年6月30日		前事業年度末 2019年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	774,540	81.4	634,996	74.9	781,977	82.1
地盤改良工事	120,361	12.7	158,306	18.7	92,773	9.7
その他工事	56,528	5.9	54,600	6.4	77,574	8.2
合計	951,429	100.0	847,902	100.0	952,324	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は(前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高)に一致しております。